

# 学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.4 平成26年12月26日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

○11月11日(火) 来年度医療専攻希望者(1年生)対象医療講演会

講師：新潟青陵大学 医療福祉心理学部 看護学科教授 池田かよ子先生



来年度、医療専攻3期生となる予定の1年生が初めて受講する11月の講演会。「いのちの授業」として先輩達に強い印象を残して下さった池田先生から、今年も御講演を賜りました。

新潟青陵大学は、看護を学べる4年制大学として、西高生にも人気の高い大学であり、今回は看護系受験をめざす3年生も参加してくれました。

## 【先生のお話の抜粋】

①看護する者に必要な心構えの根幹は、「生命尊重・人間尊重」の精神である。そこには「心(Heart)・技術(Hand)・知識(Head)の3H」と「精神(Spirit)・技術(skill)・知識(Science)の3S」とを兼ね備えることが必要である。看護ケアとは、する側からされる側への一方通行ではない。する側とされる側との両者が存在して成立するものである。看護をする者は、時には、される者から元気をいただき、辛いことを助けられているのである。

②「看護」の資格としては、国家資格である看護師・保健師・助産師の3つがある。看護師免許を持つと健康障害のある人の療養上の世話や、診療の補助ができる。保健師免許を持つと、市町村に暮らす人々の健康管理ができる。また、この中で助産師は唯一「助産院・助産所」の開業権がある。出産するお母さんよりも先に、助産師は赤ちゃんと対面できる素晴らしい職業である。

## 【誕生学「いのちの授業」】

「いのちの授業」は、「助産師とは、生む女性の力、生まれる子の力を引き出す仕事。」とおっしゃる先生の御専門です。「はじまりの大きさ」が実感できる「人間の卵子の大きさ」が印刷されたカードや豊富なスライドなど、たくさんの教材を活用し、わかりやすくお話いただきました。さらに、等身大の人形と女性の骨盤模型を用いて胎児が通る道のりを御教示いただいた上で、出産シーンが含まれるビデオ視聴をしました。生徒は真剣に考え、感動で涙ぐみながら映像を見つけていました。

### \*\*\*生徒の感想から\*\*\*

○赤ちゃんが出生するまでの過程や仕組みがよくわかりました。特に僕が興味を持ったのは、「赤ちゃんは食べ物を与え、オムツを替えるだけでは生きていけない。お母さんが笑顔を見せること、話しかけることなど、『愛情』が赤ちゃんの成長には必須だ。」ということです。

お母さんと赤ちゃんとの繋がりには、とても感動しました。(男子生徒・看護師希望)

○看護職の大変さは、ある程度分かっているつもりでしたが、先生から「看護職に就くならば、常にどの場面でも、自分だったらどうするか、どう思うかなどを考えなければならない。」とお聞きして、体力面だけではなく、知識・精神面でも勉強を続けなければならない大変な職業だと分かりました。今までの私は、全然分かっていないということを思い知らされました。(女子生徒・進路希望未定)

○あらためて「命から命が生まれること(命の連鎖)」は、凄いことだなあと思いました。赤ちゃんは羊水が汚れた時、自分でそれを飲み込んで尿として出し、羊水をきれいにしていることに驚きました。私は赤ちゃんの時の記憶は全くありませんが、自分もそうしていたのだなあと、とても不思議でした。(女子生徒・看護師希望)

○ずっと看護師を目指していたのですが、この講演をお聞きして、助産師になろうと道を変えました。先生のお話は、とても心に響き、凄くためになりました。また、3年生の先輩達の質疑応答は、ハキハキとよどみなく話していて、あらためて凄いなあと思いました。

(女子生徒・助産師へ希望変更)



#### 出産時の赤ちゃんの動きの解説

池田先生の首から掛かっているものは・・・  
「胎盤とへその緒モデル」

人形は・・・

オーストラリア生まれの  
ジョイクン。

身長 50センチメートル。

体重 3000グラム。

#### 質疑応答の場面

医療を志す西高3年生の先輩達。  
先生への感謝の言葉とともに、鋭い質問が多く出されました。

「さすが！先輩！！」という雰囲気です。

積極的に発言する先輩の姿は、1年生にとって大きな刺激となりました。

